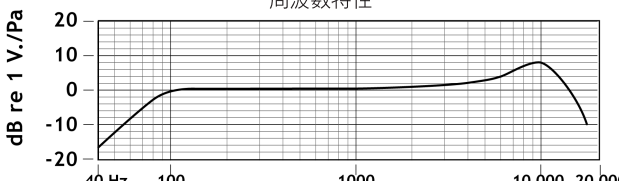
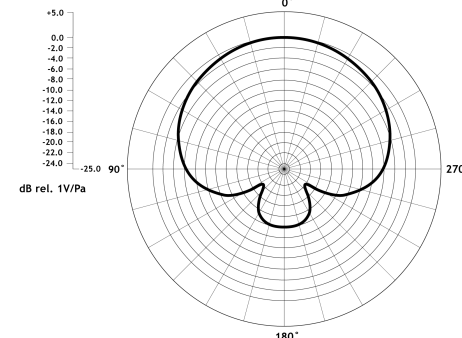
USER'S MANUAL
日本語版

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はRODE　PODCASTERをお買い上げいただき、誠に有難うございます。PODCASTERは音声をクリアに収音し、直接デジタル機器に接続することが可能なマイクロフォンです。ポッドキャストの番組を作るだけでなく、デジタルビデオ編集で音声を加える事や、ロケ撮影中のレポートをラップトップに録音し、スタジオにメールで配信すれば即時放送も可能になります。　製品の性能を最大限に発揮し、末永くお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい｡尚、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保存して下さい。

特徴

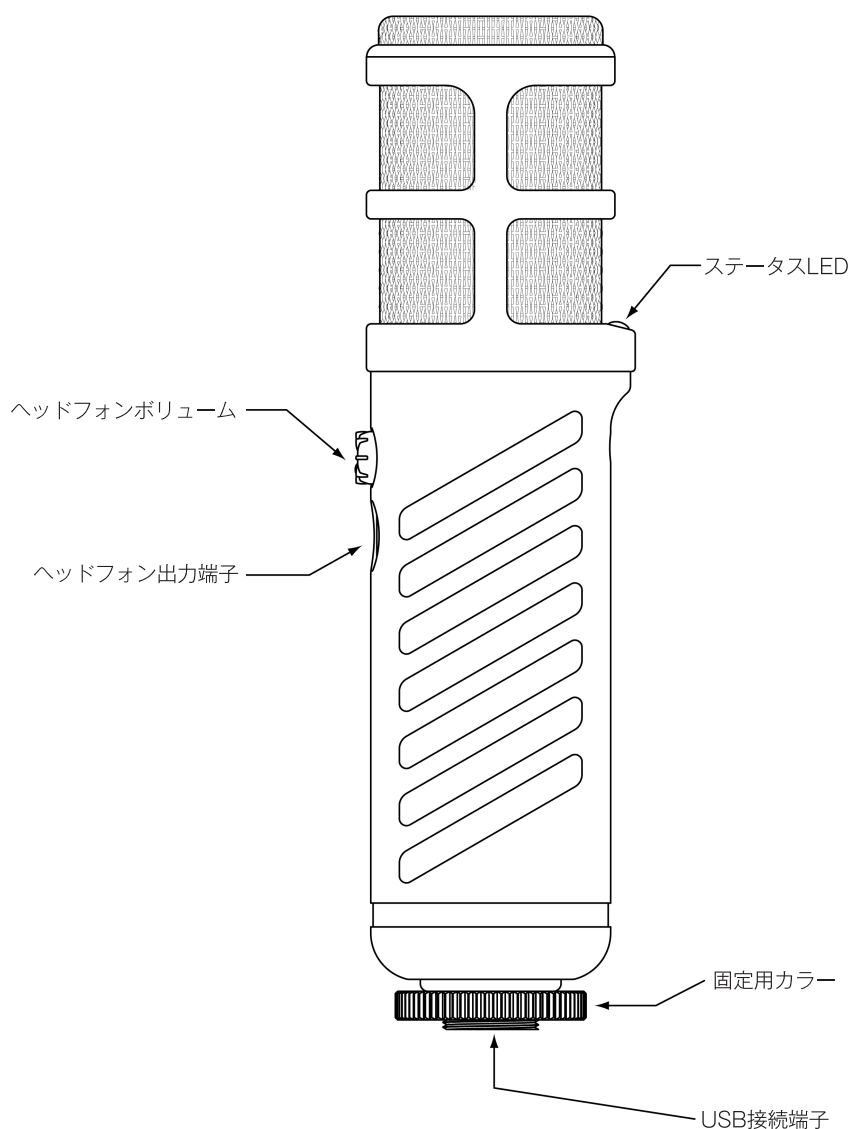
- 高音質でブロードキャストに最適なサウンド
- 28ｍｍのネオジミウム・ダイナミックカプセル
- 18bitの解像度、8kHzから48kHzのサンプリング周波数
- Windows/Mac双方に対応
- タイトなカーディオイドパターンで、優れたオフアクシス・リジェクションを実現
- USBバスパワー
- スタンドマウント、USBケーブル(3m)付属
- ショックマウント内蔵カプセル
- ボリュームコントロール付き3.5mmステレオヘッドフォン端子装備

仕様

音響方式	28mmネオジミウム・ダイナミック型
電気系統	アナログ信号処理、A/D変換、USBインターフェース
指向性	単一指向性
周波数特性	40Hz ～14kHz
感度	-51dB re 1Volt/Pascal (2.8m @94dB SPL) +/- 3dB
最大SPL	115dB
S/N比	78 dB以下
アナログ出力	モニター用ヘッドフォン出力 150mW @32ｽ 出力レベル調整
デジタル出力	USB
解像度	18 bit
オーディオコントロール	AC97
電源	USBポートより電源供給が可能
重量	610ｇ
寸法	215mm(L) x 56mm(H) x 52mm (W)
周波数特性	40Hz ～14 kHz

周波数特性

極性パターン

各部名称

PODCASTERの接続と設定

PODCASTERの設定は二つの方法があり、録音時にどの程度の調整を行いたいかによって変わります。
PODCASTERはUSB接続に対応しているので、パソコン/MACとUSBケーブルで接続するだけで、OSに標準インストールされているオーディオインターフェースを使って録音を始める事が出来ますが、以下に説明するRODEソフトウェアをインストールする事で、よりプロフェッショナルなレベルでのオペレーションが可能となり、簡単にレコーディング環境の設定を行う事や、より良いサウンドを録音する事が出来ます。

PODCASTERをMAC OS Xで使用する

① USBケーブルの片側をPODCASTERに、もう片側をMACのUSBポートに接続します。LEDが赤く点滅した後、緑色に点灯し、PODCASTERがUSBからの電源を使って正しく機能していることを表します。MACがUSBオーディオデバイスを認識し、ユニバーサルドライバーを自動的にインストールします。

② PODCASTERをMACの新しいオーディオ入力機器として選択する為に、Dock上もしくはメインAPPLEメニューから『システム環境設定』を開きます。(図3)

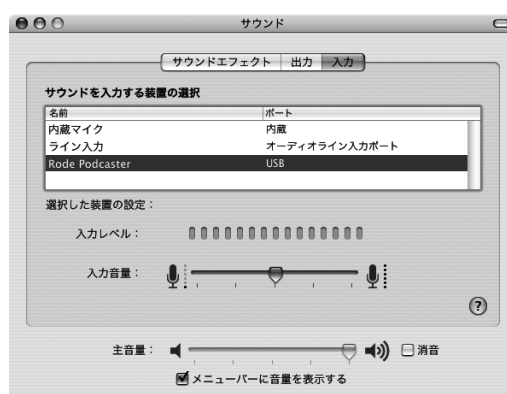
③ 次に『サウンド環境設定』を開き、『入力』タブをクリックし『RODE PODCASTER』を選択します。(図4) これでMACに標準で入っているサウンドレコーディング用ソフトウェアを通じてPODCASTERを使用することが出来ます。

(図3)

(図4)

PODCASTERの機能を更に広げる為に、以下のPODCASTER WEBサイトよりダウンロードできる追加ソフトをインストールすることをお勧めします。

http://www.rodepodcaster.com/

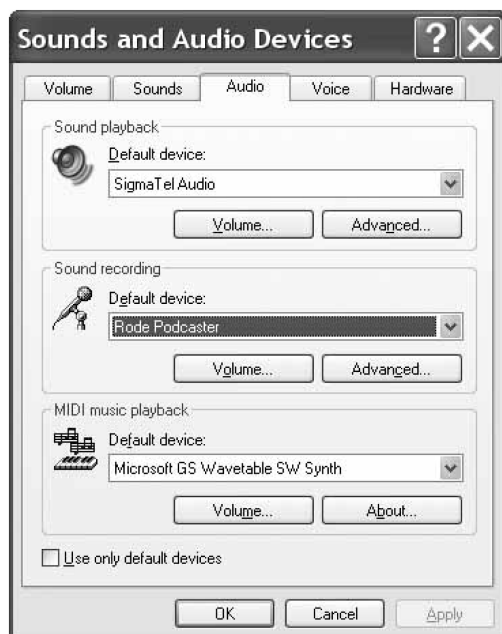
ソフトのダウンロード、インストールに関しては本マニュアルの『PODCASTERソフトウェアのインストールと操作』の項をご参照ください。

PODCASTERをWindows XPで使用する

注意：以下はPODCASTERをWindows XP Service Pack2で使用する場合の設定方法です。他のバージョンでは設定方法が異なる事があります。

① USBケーブルの片側をPODCASTERに、もう片側を使用するPCに接続します。LEDが赤く点滅した後、緑色に点灯し、PODCASTERがUSBからの電源を使って正しく機能していることを表します。
PCがUSBオーディオデバイスを認識し、ユニバーサルドライバーを自動的にインストールします。

② コントロールパネル上の『サウンドとオーディオデバイス』アイコンをクリックし、プロパティを開きます。『オーディオ』タブをクリックし、『録音』のオプションで『RODE PODCASTER』を規定のデバイスに選択します。(図5)

③ これでPODCASTERをPC上のサウンドレコーディング用ソフトウェアを通じて使用する事が出来ます。

④ レコーディングレベルを調整するには、録音設定の『音量』ボタンをクリックします。

(図5)

PODCASTERをWindows 98で使用する

① USBケーブルの片側をPODCASTERに、もう片側を使用するPCに接続します。LEDが赤く点滅した後、緑色に点灯し、PODCASTERがUSBからの電源を使って正しく機能していることを表します。
PCがUSBオーディオデバイスを認識し、ユニバーサルドライバーを自動的にインストールします。

②コントロールパネル上の『サウンドとマルチメディア』アイコンをクリックし､プロパティを開きます。『オーディオ』タブをクリックし、『録音』のオプションで『USBオーディオデバイス』か『RODE PODCASTER』を優先するデバイスに選択します。

③これでPODCASTERをPC上のサウンドレコーディング用ソフトウェアを通じて使用する事が出来ます。

PODCASTERソフトウェアのインストールと操作

PODCASTERをシンプルなレコーディング用マイクとして使う場合は、OSにプリインストールされたソフトウェアで使用できますが、RODEの専用ソフトウェアをインストールすることによって、レコーディング時により幅広い調整を行う事が出来ます。
ソフトウェアはPODCASTER WEBサイト(http://www.rodepodcaster.com/)から無償ダウンロードが可能です。

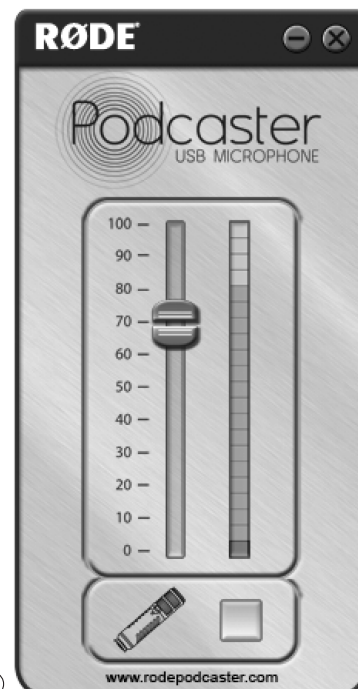
① お使いのPCへファイルをダウンロードし、出てきたアイコンをクリックしてください。自動的に“Podcaster Install” の画面が現れます。画面上の指示に従って新しいソフトウェアをインストールします。

② ソフトウェアのインストールが完了したら､PODCASTERソフトウェアを使ってレコーディング環境の設定を行う事が出来ます。

③ ソフトウェアを立ち上げると､“Podcaster”ウインドウが表示されます｡(図6)

●レコーディングボリューム
レコーディングボリューム調整スライダー(画面左側)で録音レベルを調整します。

●LEDレベルメーター
LEDレベルメーター(画面右側)はマイクの入力信号を視覚的に表示します。
より大きな信号を入力する事によって多くのLEDレベルバーが点灯します。

●ミュートボタン
ミュートボタン(画面下部)を使うと、録音内容を再生する時にマイクの入力信号をミュートする事が出来ます。

(図6)

サウンドレベルを調整する

レコーディング環境を設定する際、まず適切なレベルを設定する事が挙げられます。これは接続する機器が処理できるレベルを超えないよう、音が歪む前に抑えながら、しっかり聞き分ける事が出来るレベルまで上げる必要があります。

レコーディングボリューム・スライダーを使って、簡単にレベルの調整を行う事が出来ます。

まずPODCASTERをセットし、レコーディング時と同じ大きさの声で発声しながら、スライダーを上げていきます。まずLEDレベルメーターが緑色で表示され、歪む前の上限に近づき始めるとオレンジ色のインジケーターが点灯します。赤のインジケーターまで点灯すると、入力の限界を超え信号が歪み始めます。緑色のインジケーターが常に点灯し、時折オレンジが点滅する辺りのレベルまで下げてください。

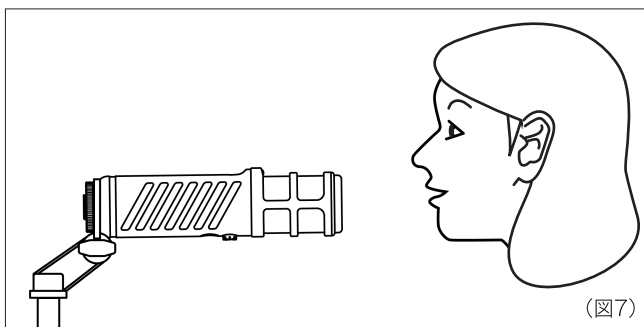
これでレコーディングレベルの設定は完了です。適切なレベルに保つ事によって、録音時により細かな調整ができるようになります。

PODCASTERの電源と操作

PODCASTERにはUSB経由で電源が供給される為、外部電源は必要ありません。PODCASTERをPCのUSBポートに接続すると、インジケーターが一瞬だけ赤に点灯した後、緑色に点灯します。緑のインジケーターはPODCASTERに電源が供給されていて録音が始められる状態にあることを表し、USBポートから外すまで点灯しています。

PODCASTERで音声を収録する

PODCASTERはエンドアドレス型のマイクロフォンです。声をよりクリアに録音する為にはマイクの上部に向かって発声する必要があります。下図のようにマイクに向かって発声している場合、インジケーターのLEDが緑になっている事を確認する事ができます。
使用されているカプセルの極性は『単一指向性』です。主にカプセルの前方からの音を拾う事ができます。側面からの音に対しては、前方から録音した場合の音と比べてかすれた、弱い音になります。

（図7）

PODCASTERの設置

録音環境やバックグラウンドノイズは設置位置によって大きく変化するため、どこにPODCASTERを設置するかによって音質が左右されます。できる限りバックグラウンドノイズの影響を受けない様に様々な位置を試す事で最適な設置位置を見つける事ができるでしょう。

近接効果とは、音源がマイクに近い場合に低音域が強調される現象です。この効果を利用して、音質を上げる事も可能ですが、音源がマイク近すぎると歪んでしまう事がありますのでご注意ください。

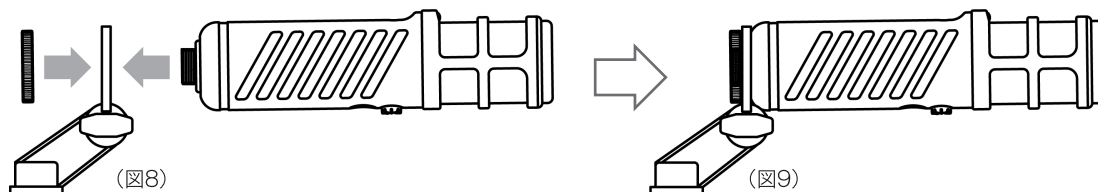
ヘッドホンの接続

PODCASTERの便利な機能の一つが内蔵されたヘッドホンアンプです。ヘッドホンのミニフォンジャックをPODCASTERに接続し、音量を調節するだけでマイクが拾った音を直接モニタリングできます。
ヘッドホンを直接接続する事の利点は、録音しているそのままの音をリアルタイムで確認する事が出来る事です。つまり、録音時により正確な調整が可能となり、問題があったとしても早い段階で発見できる為、再録音の手間を省く事が出来ます。

PODCASTERのマウント

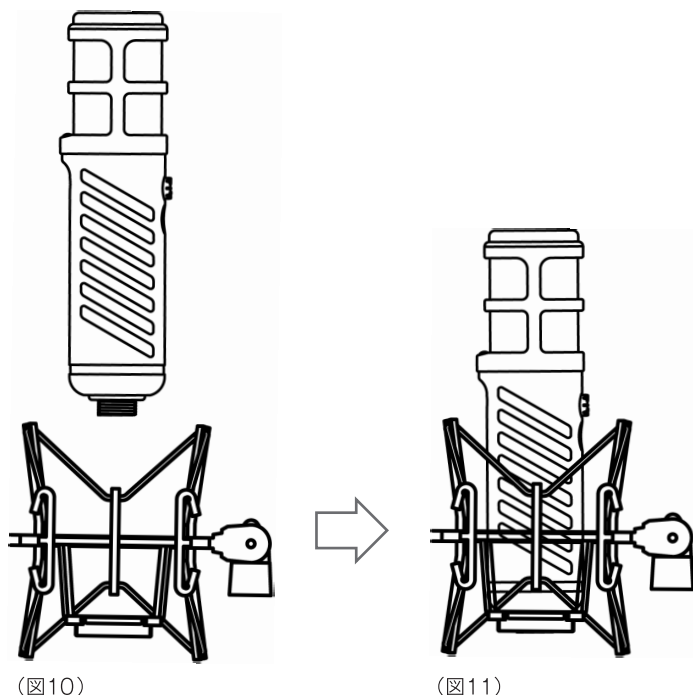
PODCASTERにはスタンドマウントが同梱されており、これを取り付ければマイクスタンドや、テーブル固定型のブームアームなどにマイクを固定する事が出来るようになります。
このマウントに取り付けられている3/8インチネジは取り外し可能で、取り外すと内側にある5/8インチネジを使用することが出来ます。更に、蝶ネジでマイクの角度を自由に調節できます。

マイクをスタンドなどにマウントする際は以下の手順で行ってください。
① マイクのベースから固定用カラーを取り外します。
② ベースをスライドさせ、スタンドマウントの穴に差し込みます。(図8)
③ カラーを元の位置に取り付け、マイクがマウントにしっかり固定されている事を確認してください。(図9)
④ スタンドマウントの蝶ネジを緩め、マイクを適切な角度に調節して下さい。
角度が決まったら、再度蝶ネジを締めてください。

（図8）　（図9）

ショックマウントPSM-1（オプション）の使用について

オプションのショックマウントPSM-1を使用すれば、振動による不必要なノイズを大幅に削減する事が可能です。マイクの取り付けは以下の手順で行ってください。

① まずPSM-1をマイクスタンド、ブームアーム等にネジで留めます。
5/8インチネジ付きのスタンド、ブームを使用する場合は3/8インチネジを取り外してください。
② PODCASTERのベースから固定用カラーを取り外し、失くさない様に保管してください。
③ PODCASTERをPSM-1の中心に差し込み、下部のプレートに取り付けます。（図10）
ショックマウントの中心にある固定用カラーをPODCASTERの下部に取り付けてください。
④ ショックマウントの固定用カラーを回してPODCASTERをしっかりと固定してください。（図11）
⑤ PSM-1の蝶ネジを緩めて、PODCASTERを適切な角度に調節してください。
最後に蝶ネジを締めなおしてください。
※注：蝶ネジを締めすぎるとネジが壊れ、適切な位置に固定できなくなりますのでご注意ください。

（図10）　（図11）

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より10年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より10年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。